

主な研究業績

種類	著書/論文/論題名	掲載誌巻号/ 発行者/学会名	発表 年月	備考/ 執筆ページ
著書				
共著	事例で学ぶ生徒指導・進路指導・教育相談中学校・高等学校編	遠見書房	2014	
共著	事例で学ぶ生徒指導・進路指導・教育相談小学校編	遠見書房	2014	
共著	みんなで考える家族・家庭支援論	同文書院	2013	
共著	解決志向介護コミュニケーションー短期療法で家族を変えるー	誠信書房	2010年10月	
共著	現代のエスプリ別冊ー臨床心理学入門事典	至文堂	2005年10月	
共著	現代のエスプリー臨床の語用論Ⅱー徹底した相互作用という視点	至文堂	2005年7月	
共著	現代のエスプリー臨床の語用論Ⅰー行為の方向を決めるもの	至文堂	2005年5月	
共著	学校臨床ヒント集ースクール・プロブレム・バスター・マニュアルー	金剛出版	2003年5月	
論文				
単著	別室登校の児童生徒にとって学校図書館とはどのような居場所かー司書を対象とした調査からー	熊本県立大学文学部紀要 24(77), 89-99.	2018年2月	
単著	教育現場に活かす短期療法・家族療法	志學館大学心理相談センター紀要第5号, pp.89-95.	2011年3月	
単著	佐々木論文へのコメントー家族療法の視点よりー	志學館大学心理相談センター紀要第5号, pp.47-51.	2011年1月	
単著	グリーフケアとしての短期/家族療法ー妻の死を抱えることができた男性ー	Interactional Mind 2008, pp.96-113.	2008年9月	
単著	問題言及場面におけるコミュニケーションに関する臨床心理学的研究ー問題の維持と変化の観点からー	東北大学教育学研究科学学位論文	2007年2月	
単著	問題場面におけるシステムの自己制御性に関する研究ー間投詞と沈黙に着目してー	日本家族心理学研究 18(2), pp.123-132	2004年12月	
単著	問題場面におけるシステムの自己制御性に関する研究ーパッシブ言語・アクティブ言語に着目してー	東北大学臨床心理相談室紀要, 2, pp.69-82	2004年3月	
共著	DVサバイバーのコントロール感に対するトラウマの大きさの影響	佐賀大学全学教育機構紀要, 9, 137-148.	2021年3月	137-148
共著	DV加害者イメージ及び被害者イメージの常識的構造ー大学生を対象にー	佐賀大学全学教育機構紀要, 9, 149-160.	2021年3月	149-160
共著	日本人大学生における英語教室不安と評価への恐れ及び養育態度の認知との関連	熊本県立大学教職課程研究論集, 4, 1-20.	2021年3月	
共著	大学生における「いじめ」と「いじり」の認識	熊本県立大学教職課程研究論集, 3, 1-21	2020年3月	
共著	外国語の面接における聞き手のうなずき・あいづちと話し手の不安	熊本県立大学教職課程研究論集, 2, 1-17.	2019年3月	1-17
共著	DV被害者にとって自身の被害をDV概念でとらえることはどのような経験なのか	佐賀大学全学教育機構紀要, 7, 153-161	2019年3月	153-161
共著	回復を続けるDV被害経験者のDV観に関する質的研究	佐賀大学全学教育機構紀要, 7, 143-152	2019年3月	143-152
共著	アセスメントとフィードバックにより発達特性の理解と受容が促された兄弟事例ー児へのプレイセラピー、母親支援、保育園連携を通してー	志學館大学心理臨床研究紀要, 6, 21-30.	2017年3月	
共著	保育園児を持つ母親及び父親の性役割観が母親のゲートキーピングに与える影響	志學館大学心理臨床研究紀要, 6, 3-10	2017年3月	
共著	母親のゲートキーピングが父親の家事・育児参加に及ぼす影響の検討ー保育園児の母親及び父親を対象としてー	志學館大学大学院心理臨床学研究科紀要, 10, 3-10.	2016年12月	
共著	コントロール感尺度の作成	鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要, 11, 3-14.	2016年3月	

共著	DVサバイバーのコントロール感はDVからの回復にいかにかに寄与するかー過去の相補的なDV関係に着目してー	志學館大学心理臨床研究紀要5,pp.3-9.	2016年3月	
共著	DVサバイバーにおける過去のDV関係の認識と現在のコントロール感との関連	志學館大学大学院心理臨床学研究科紀要9,pp9-16.	2015年12月	
共著	合意形成場面における受け手の非言語コミュニケーションが送り手に与える影響ーうなずきに着目してー	産業カウンセリング学会16(1),pp.1-9.	2014年3月	
共著	クライアントとの関係性のアセスメント	Interactional Mind VI 日本ブリーフセラピー協会,pp.58-62	2013年11月	
共著	他者を変えることは可能かーブリーフセラピーの変化観ー.	Interactional Mind VI 日本ブリーフセラピー協会,pp.50-53.	2013年11月	
共著	クライアントの症状・障害に左右されないー構成主義的アセスメント	Interactional Mind VI 日本ブリーフセラピー協会,pp.63-67.	2013年11月	
共著	問題をシステムとしてとらえるアセスメント	Interactional Mind VI 日本ブリーフセラピー協会,pp.54-57.	2013年11月	
共著	認知行動療法とブリーフセラピーのアセスメントの異同	Interactional Mind VI 日本ブリーフセラピー協会,pp.44-49	2013年11月	
共著	宮古市の仮設住宅住民の心理的健康と個別的経験ー地域コミュニティを中心とした心理的サポートの構築に向けて.	日本地理学会2013年春季学術大会E-journal GEO.8(1),pp.184-191.	2013	
共著	心理アセスメントの構成主義的ー考察	東北大学臨床心理相談室紀要第4巻,pp.73-82	2006年3月	
共著	ツイン・リフレクティング・プロセスという新しい事例検討の方法ー家族療法のリフレクティング・プロセスを応用してー	東北大学臨床心理相談室紀要第3巻,pp.101-113	2005年3月	
共著	二者間におけるマネージメント・コミュニケーションの機能的分類	東北大学臨床心理相談室紀要第3巻,pp.115-127	2005年3月	
共著	欺瞞場面におけるマネージメント的コミュニケーションの検討	日本家族心理学研究,15(1),pp.1-12.	2001	
翻訳書				
共著	解決志向ブリーフセラピーハンドブックーエビデンスに基づく研究と実践	金剛出版	2013年9月	
共訳	インスー・キム・バーグのブリーフコーチング入門	創元社	2007年9月	
共訳	子どもたちとのソリューションワーク	金剛出版	2005年5月	
その他				
単著	発達障害のライフデザイン支援事例編	平成26年度発達障害に関する教職員育成プログラム開発事業	2014	
単著	仮設住民の心理② インタビュー調査を通して	月刊地理58(8),76-85.	2013	